

もしもの時に備えて、事前に避難方法などを確認

- 津市が作成しているハザードマップ等を見て「河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか」「土砂災害が起こりやすい場所ではないか」など、自宅や学校・職場などのよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 大雨などにより、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物(上階が浸水しない建物、川沿いでない建物など)に移動しましょう。
- 外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋)に移動しましょう。
- 津市では、右記の方法で避難情報等の伝達を行いますので、事前に確認・登録し、ご利用ください。



ハザードマップ等

災害時の避難情報などの伝達方法

- 同報系防災行政無線*
 - 津市防災情報メール(多言語版もあります)
 - エリアメール・緊急速報メール*
 - ファクス送信サービス
 - 電話応答サービス
 - 緊急告知ラジオ
 - 津市ホームページ
- ※地区単位で伝達



津市防災サイト

川の水位がホームページでも確認できます

三重県では、洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」の設置が進められており、市内でも運用が開始されています。川の水位については、国土交通省ホームページ「川の水位情報」で閲覧できます。



川の水位情報

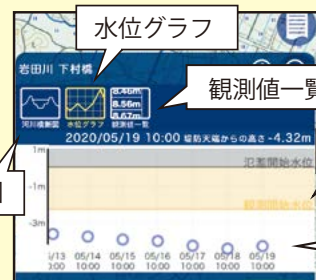
川の水位情報ホームページの閲覧方法



クリック



河川横断面図



水位グラフ

観測値一覧

観測開始水位

●が観測開始水位を超えたら注意しましょう。

アイコンをクリックすると水位情報(水位グラフ、河川横断面図、観測値一覧)を確認できます。

土砂災害避難施設・土砂災害避難協力施設を募集

土砂災害を受ける可能性が高い区域または土砂災害の恐れのある区域に所在する指定避難所の代替施設として、土砂災害避難施設と土砂災害避難協力施設を募集しています。特に土砂災害警戒区域に指定されている久居・美里・白山・美杉地域で募集しています。ぜひご協力ください。



対象 次の要件を満たす建物

土砂災害避難施設

- 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域・土砂災害危険箇所の範囲外でその周辺にある建物
- 避難スペースが十分に確保でき避難スペースまで安全な避難経路を有する建物

- 浸水や暴風により構造耐力上支障のある事態を生じない構造の建物
- 日常的に使用され、または管理されている建物
- 指定避難所として指定されていない建物
- いつでも避難できる建物

土砂災害避難協力施設

- 上記①～⑤の建物
- 所有者または管理者が認める日時に限り避難することができる建物

申し込み 申込用紙を防災室または各総合支所地域振興課へ

※申込用紙は津市ホームページからもダウンロードできます。



土砂災害避難施設・土砂災害避難協力施設